

富山県感染症発生動向速報

(2026 年第 41 週分・10 月 5 日～10 月 11 日)

■今週の主な動向

○インフルエンザの患者報告数は先週から増加し、注意報レベルの基準を超えました。

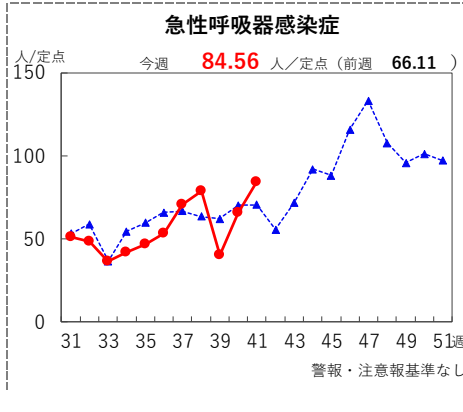
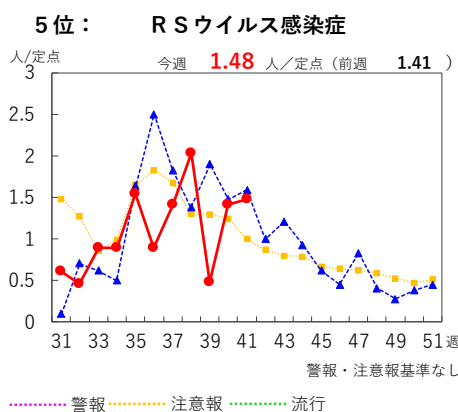
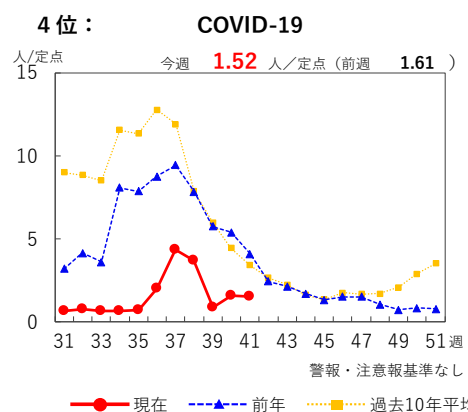
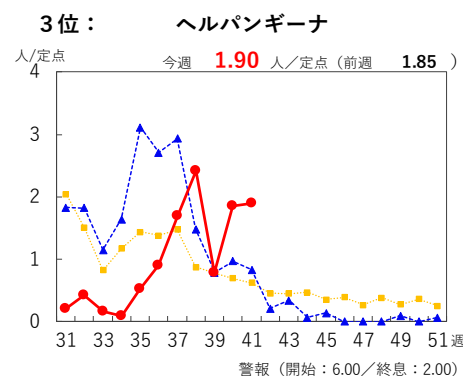
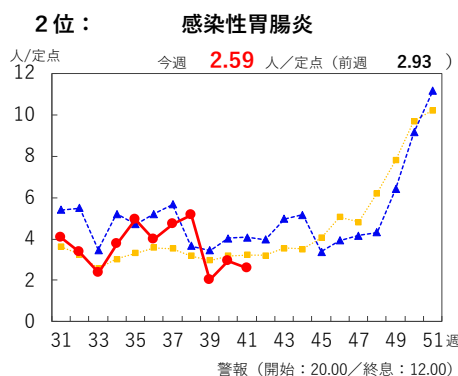
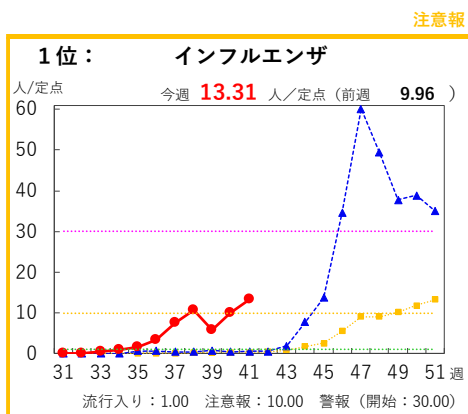
県内の患者報告数は 13.31 人/定点となり、再び注意報レベルの基準を超えました。特に 15 歳未満の患者報告が増加しています。基本的な感染対策を継続するとともに、ワクチン接種をご検討ください。(インフルエンザの疫学所見、第 39 週インフォメーション参照)

○ヘルパンギーナの報告数が多い状況です。

患者の年齢は 1 歳が最も多く、5 歳以下が患者の 90%を占めています。特徴的な症状として、突然の高熱、口腔内の水疱、のどの痛みがみられます。小さなお子さんのいる家庭や施設では感染予防を心がけましょう。(第 26 週インフォメーション参照)

■定点報告の感染症

今週の富山県内上位 5 疾患 + 急性呼吸器感染症 (第 41 週・10/5～10/11)

厚生センター (保健所) 管内別、直近の推移: <https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/#a-6>

■全数報告の感染症

二類感染症 結核 3 件 (①70 歳代、男性 ②80 歳代、男性 ③90 歳以上、男性)

三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 2 件 (①20 歳代、女性、O26、VT1
②20 歳代、女性、O157、VT2)

四類感染症 A 型肝炎 1 件 (20 歳代、女性)

レジオネラ症 1 件 (70 歳代、男性、肺炎型)

五類感染症 急性脳炎 1 件 (10 歳代、女性)



富山県感染症情報センター (富山県衛生研究所内)

TEL: 0766-56-5431 (直通) HP: <https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/>



報告数が増加しています！ 腸管出血性大腸菌感染症

《 インフォメーション 》

●腸管出血性大腸菌感染症

腸管出血性大腸菌（EHEC）感染症は、ベロ毒素（VT）を産生する EHEC を原因とする感染症です。EHEC は牛などの反芻（はんすう）動物に保菌されていることが多く、これらの動物の糞便を介し肉類やその他の食品、井戸水などを汚染します。汚染された食品を生のまま、もしくは加熱不十分な状態で喫食すると、3～5

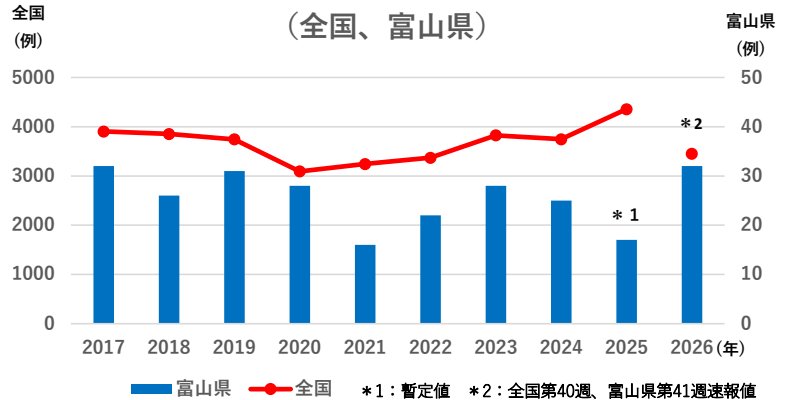
日後に腹痛や水様性の下痢、さらに一部の患者では嘔吐や発熱、血便などの症状も呈します。溶血性尿毒症症候群（HUS）や脳症など重篤な合併症を併発し、死亡する症例もあります。

無症状病原体保有者を含む EHEC 感染例は、全国では例年 3,000～3,900 例でしたが、昨年は 4,358 例（暫定値）の報告がありました（図）。一方、富山県では今週（第 41 週）2 例の報告があり、2026 年累計では 32 例となり、既に昨年 1 年間の報告数を上回っています（[富山県感染症情報センター／腸管出血性大腸菌感染症](#)）。

EHEC は少量の菌（10～100 個程度）でも感染するとされており（[IASR 2026:47\(5\);75-77](#)）、感染者は無症状であっても患者と同様に菌を排出しています。家庭や保育園・介護施設等においては、感染者の糞便で汚染された手指などを介して起こるヒトからヒトへの二次感染に注意が必要です。免疫力が弱く重症化しやすい小児や妊婦、高齢者については特に注意が必要です。

感染予防には、生肉や加熱が不十分な肉の喫食を避けること、調理する際の生肉の取り扱いに注意することが重要です。以下のことに注意し、感染予防に努めましょう。また 2023 年以降、韓国渡航後の EHEC 感染例が増加しており、約 7 割の症例で「ユッケ」「生レバー」「生肉」の喫食歴が報告されています（[IASR 2026:47\(5\);88-89](#)）。海外でも生肉の喫食は避け、十分に加熱された食品を摂取することが重要です。

腸管出血性大腸菌感染症報告数



- ① 調理の際（調理前後、肉等を取り扱った後など）、食事の前、トイレの後、感染者の世話をした後は石けんと流水で手を洗う
- ② 生肉やレバーなどの内臓肉は、内部まで十分に加熱（中心部の温度が 75℃で 1 分以上）してから食べる
- ③ まな板などの調理器具は、「肉用・魚用」と「野菜用」で使い分ける
- ④ 食材は調理までの間、低温（10℃以下）で保存する



○感染症発生動向調査報告状況（2026年第41週 2026年10月5日～2026年10月11日）

分類		疾患	今週報告分（第41週）						累積報告数（2026年第1週（2025年12月29日）～）						
			新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	
全数把握	二類感染症	結核				1	2	3	5	3	18	11	51	88	
		（再掲）結核：無症状病原体保有者を除く					1	1	5	1	7	6	30	49	
	三類感染症	細菌性赤痢									1		1	2	
		腸管出血性大腸菌感染症			2			2	3	1	10	3	15	32	
	四類感染症	E型肝炎							1		1		1	3	
		A型肝炎				1		1					1	1	
		デング熱											2	2	
		マラリア											2	2	
	五類感染症	レジオネラ症					1	1	1	1	3	11	4	20	39
		急性脳炎			1			1	2			2		4	8
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症										4	1	6	11
		後天性免疫不全症候群（HIV感染症を含む）												1	1
		侵襲性インフルエンザ菌感染症										2		5	7
		侵襲性髄膜炎菌感染症											1		1
		侵襲性肺炎球菌感染症							3			7	2	5	17
		水痘（入院例）							1	2	2			4	9
		多剤耐性緑膿菌感染症												1	1
		梅毒							5	2	10	3	15	35	35
		破傷風												1	1
		百日咳							1					7	8
		麻しん										4		4	8
定点把握（上段：報告数、下段：定点医療機関当たりの報告数）	急性呼吸器感染症（ARI）定点（48定点）	急性呼吸器感染症（※1）	286	302	1,403	347	1,721	4,059	11,526	10,578	41,029	11,383	51,548	126,064	
			40.86	60.40	107.92	49.57	107.56	84.56							
		インフルエンザ	30	29	294	48	238	639	1,674	1,337	4,280	1,686	5,730	14,707	
			4.29	5.80	22.62	6.86	14.88	13.31							
		COVID-19	9	2	32	17	13	73	376	159	766	314	655	2,270	
	小児科定点（29定点）		1.29	0.40	2.46	2.43	0.81	1.52							
		RSウイルス感染症	2	1	17	6	17	43	37	18	307	86	235	683	
			0.50	0.33	2.13	1.50	1.70	1.48							
		咽頭結膜熱	1		2			3	39	23	279	2	88	431	
			0.25		0.25			0.10							
		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2		15	1	5	23	165	210	1,481	231	1,408	3,495	
			0.50		1.88	0.25	0.50	0.79							
		感染性胃腸炎	25	9	2	3	36	75	922	738	1,182	327	4,432	7,601	
			6.25	3.00	0.25	0.75	3.60	2.59							
		水痘		1	2	1		4	4	18	75	13	123	233	
				0.33	0.25	0.25		0.14							
		手足口病			14	1	9	24	48	187	803	125	1,074	2,237	
					1.75	0.25	0.90	0.83							
		伝染性紅斑							8	3	26	11	13	61	
	突発性発しん			3		5	8	8	28	128	28	143	335		
			0.38		0.50	0.28									
ヘルパンギーナ		18	17	3	17	55	19	126	179	27	244	595			
		6.00	2.13	0.75	1.70	1.90									
流行性耳下腺炎							3	1	5	4	11	24			
眼科定点（7定点）	急性出血性結膜炎									1			1		
	流行性角結膜炎			1		1	12	7	23	17	1	60			
基幹定点（5定点）			0.50			0.14									
	細菌性髄膜炎											2	2		
	無菌性髄膜炎						2					2			
	マイコプラズマ肺炎				1	1	10		6	6	7	29			
入院サーベイランス（5定点）				1.00		0.20									
	クラミジア肺炎									2		2			
	感染性胃腸炎（ロタウイルス）								2	1		3			
入院サーベイランス（5定点）	インフルエンザによる入院患者（※2）	2		5	3	4	14	14	3	18	10	22	67		
	COVID-19による入院患者							27	19	8	12	66	132		

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

※1 急性呼吸器感染症は2025年第15週（4/7～）より開始しました。（参考：<https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/topics/ari/>）

※2 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、2026年第36週（8/31～）の集計です。

インフルエンザ情報（富山県の型別患者報告状況）

このデータは、定点医療機関で実施されたインフルエンザ迅速診断キットの診断数を集計したものです。

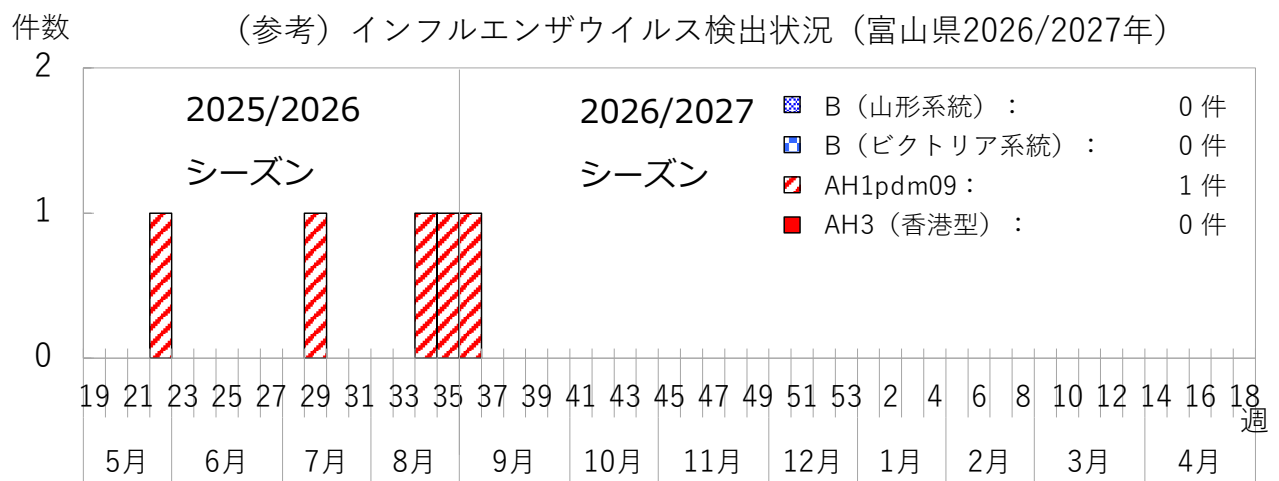
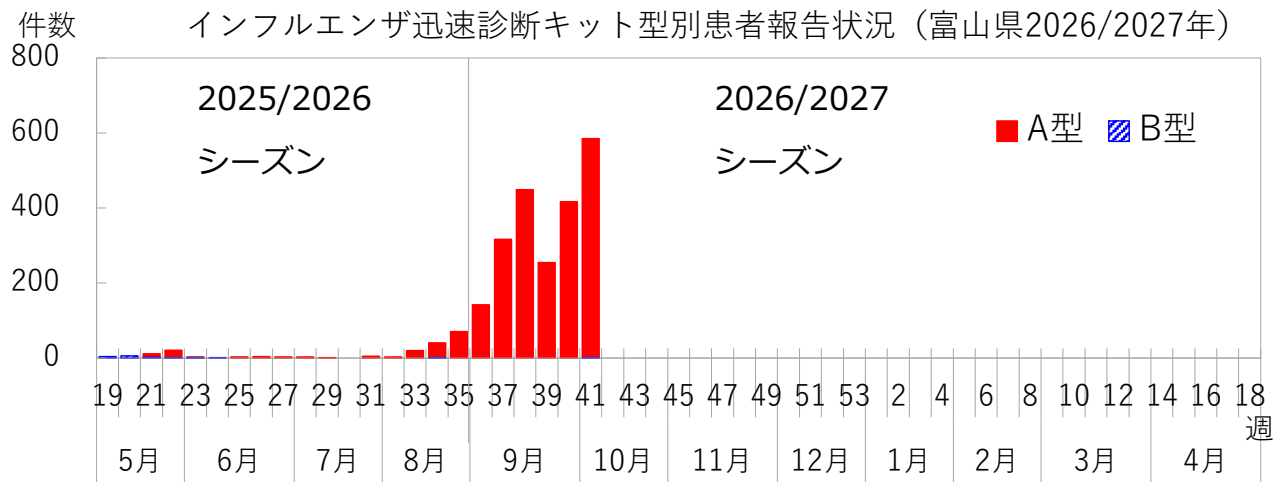
現在、下の表によると、A型が91.5%となっています。

第41週（10/5～10/11）：富山県 13.31人/定点（単位：件）

厚生センター・ 保健所名	報告数/定点数	迅速診断キット		その他※2	合計
		A型	B型		
新川	6 / 7	27	0	3	30
中部	5 / 5	27	0	2	29
高岡	13 / 13	268	1	25	294
砺波	7 / 7	46	0	2	48
富山市	16 / 16	217	0	21	238
富山県	47 / 48※1	585	1	53	639
富山県累計（2026年36週～）		2,165	1	257	2,423

※1 48の定点医療機関のうち、インフルエンザと診断した医療機関が47か所あったことを示します。

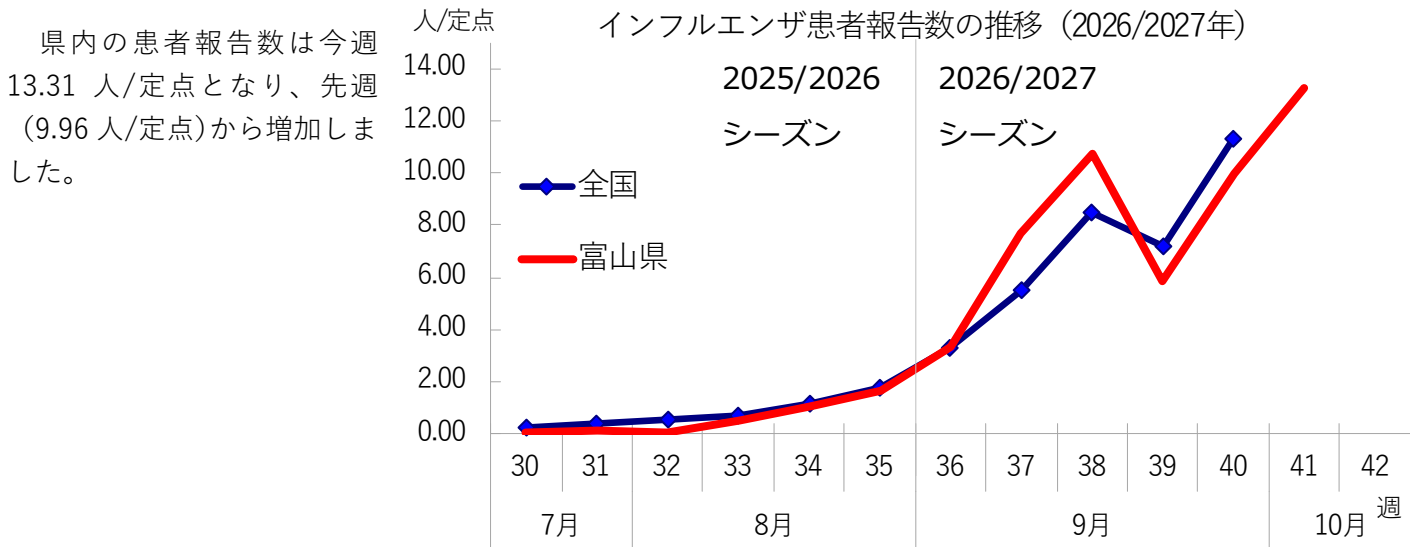
※2 「その他」には、臨床症状等によりインフルエンザと診断したが型別までは不明な患者や迅速診断キットの結果がA型とB型共に陽性の患者が対象となります。



インフルエンザ情報（全国、富山県の患者報告状況）

● 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告状況 第 41 週（10/5～10/11）

富山県 13.31 人/定点 [新川（4.29）、中部（5.80）、高岡（22.62）、砺波（6.86）、富山市（14.88）]

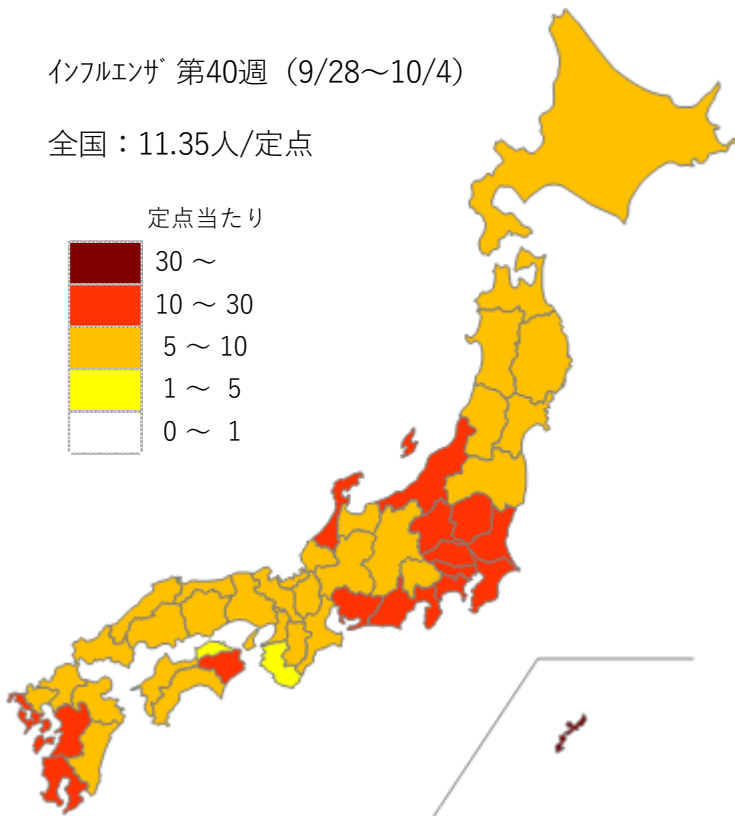
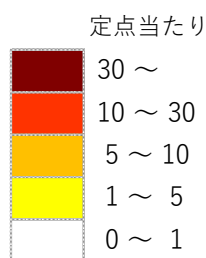


● 都道府県別インフルエンザ患者報告状況 第 40 週（9/28～10/4）

全国の患者報告数は、定点医療機関あたり 11.35 人となり、前週の 7.17 人より増加しました。44 都道府県で前週より増加しています。3 県で前週より減少しています。

インフルエンザ 第40週（9/28～10/4）

全国：11.35人/定点



都道府県	人/定点	都道府県	人/定点
北海道	9.21 ↑	滋賀県	5.97 ↑
青森県	6.10 ↑	京都府	8.92 ↑
岩手県	8.59 ↑	大阪府	6.18 ↑
宮城県	7.93 ↑	兵庫県	7.54 ↑
秋田県	7.04 ↑	奈良県	6.10 ↑
山形県	9.10 ↑	和歌山県	4.62 ↑
福島県	8.31 ↑	鳥取県	5.17 ↑
茨城県	13.60 ↑	島根県	5.50 ↑
栃木県	10.07 ↑	岡山県	6.12 ↑
群馬県	11.13 ↑	広島県	7.27 ↑
埼玉県	19.66 ↑	山口県	8.23 ↑
千葉県	18.72 ↑	徳島県	10.27 ↑
東京都	15.87 ↑	香川県	3.22 ↑
神奈川県	18.51 ↑	愛媛県	6.79 ↑
新潟県	10.05 ↑	高知県	6.54 ↑
富山県	9.96 ↑	福岡県	8.97 ↑
石川県	11.74 ↑	佐賀県	5.42 ↑
福井県	6.44 ↑	長崎県	12.84 ↑
山梨県	9.24 ↑	熊本県	10.20 ↑
長野県	7.86 ↑	大分県	7.60 ↑
岐阜県	7.42 ↓	宮崎県	7.07 ↑
静岡県	11.69 ↑	鹿児島県	10.58 ↑
愛知県	11.88 ↓	沖縄県	37.07 ↓
三重県	7.73 ↑	全国	11.35 ↑



○感染症発生動向調査報告状況（2026年9月分）

五類感染症 定点把握 月報対象疾患 (上段…報告数、下段…定点医療機関当たりの報告数)		9月報告分						累積報告数					
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
STD定点 (10定点)	性器クラミジア感染症			6		4	10			31		58	89
				2.00		1.00	1.00						
	性器ヘルペスウイルス感染症		1			8	9		8	3		45	56
			1.00			2.00	0.90						
	尖圭コンジローマ		1				1		1	3	3	6	13
			1.00				0.10						
	淋菌感染症					2	2			2		6	8
						0.50	0.20						
基幹定点 (5定点)	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	3	1	3	1	4	12	6	10	13	8	38	75
		3.00	1.00	3.00	1.00	4.00	2.40						
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症							1					1

本月報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。